

特 別 プ ロ グ ラ ム

特 別 講 演

アルトマーク賞受賞講演

教 育 講 演

特 別 シ ン ポ ジ ウ ム

シ ン ポ ジ ウ ム

サテライトシンポジウム

サテライトワークショップ

サ テ ラ イ ト 講 演

生活・保健支援グループ イベント

ランチョンセミナー

イブニングセミナー

※セッション別に掲載しております。

特別講演

■日時：11月26日（水）14：30～15：30

■会場：第1会場（大ホール）

特別講演

座長 小柳義夫（京都大学ウイルス研究所）

HIV-1 Reverse Transcriptase: Mechanisms of Drug Resistance

Stephen H. Hughes

HIV Drug Resistance Program, Center for Cancer Research, NCI-Frederick, Frederick, Maryland

アルトマーク賞受賞講演

■日時：11月26日（水）14：00～14：30

■会場：第1会場（大ホール）

木村 哲

東京通信病院

教育講演

■日時：11月27日（木）8：30～9：30

■会場：第2会場（さくら東）

教育講演1

座長 木原雅子（京都大学医学研究科社会疫学分野）

EL1 Redefining the HIV Epidemic in Asia and Crafting an Effective Response

J. V. R. Prasada Rao

UNAIDS Asia Pacific Region, Bangkok

■日時：11月27日（木）8：30～9：30

■会場：第3会場（さくら西）

教育講演2

座長 白阪琢磨（国立病院機構大阪医療センター）

EL2 HIV感染症の治療と予防～過去から未来へ～

木村 哲

東京通信病院／財団法人エイズ予防財団

■日時：11月27日（木）8：30～9：30

■会場：第4会場（小ホール）

教育講演3

座長 原田信志（熊本大学医学薬学研究部感染防御）

EL3 HIV物語・25年史

山本 直樹

国立感染症研究所エイズ研究センター

特別シンポジウム

■日時：11月27日（木）17：10～18：30

■会場：第4会場（小ホール）

特別シンポジウム

Mechanism of HIV-1 Drug Resistance and Our Response
薬剤耐性発現の機序と耐性発現への新しい対応

座長 満屋裕明
(熊本大学医学薬学研究部血液内科学・感染免疫診療部)

SSY-1 Nucleoside Analogs That Are Effective Against Excision-Proficient HIV-1 Reverse Transcriptases
P. Boyer¹⁾、Vu, C.¹⁾、X. Tu²⁾、Ambrose, Z.³⁾、Julias, J.G.⁴⁾、Siddiqui, M.A.⁵⁾、Meier, C.⁶⁾、
Marquez, V.E.⁵⁾、Arnold, E.²⁾、Hughes, S.H.¹⁾

1) HIV Drug Resistance Program

2) NCI-Frederick, Frederick, MD, 21702; Department of Chemistry and Chemical Biology

3) Rutgers University, 679 Hoes Lane, Piscataway, NJ 08854; Division of Infectious Diseases

4) University of Pittsburgh School of Medicine, Pittsburgh, PA, 15261; Basic Research Program, SAIC-Frederick, Inc.

5) Frederick, MD 21701-1201; presently Booz Allen Hamilton, Rockville, MD 20852; Laboratory for Medicinal Chemistry

6) NCI-Frederick, Frederick, MD, 21702; Department of Chemistry, Organic Chemistry, Faculty of Science, University of Hamburg, Martin-Luther-King-Platz 6, 20146 Hamburg, Germany

SSY-2 Drug Resistance in the World and Japan

白阪 琢磨

国立病院機構大阪医療センター

SSY-3 An Attempt to Halt the Emergence of Drug Resistance: Hit Twice with One Drug

関 康博

熊本大学医学薬学研究部血液内科学・感染免疫診療部

シンポジウム

■日時：11月26日（水）9：00～11：30

■会場：第1会場（大ホール）

シンポジウム1	抗HIV療法をいつ、どの薬剤で始めるか —症例経験から考える—	座長	古西 満（奈良県立医科大学感染症センター） 菊池 嘉（国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター）
----------------	------------------------------------	----	---

SY1-1 ガイドライン改訂をふまえた抗HIV療法の導入
小田原 隆
東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野

SY1-4 非結核性抗酸菌症合併例の場合
今村 顕史
東京都立駒込病院感染症科

SY1-2 B型肝炎合併患者におけるHAART導入
富成 伸次郎
国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科

SY1-5 エイズ関連悪性リンパ腫におけるHAART
田沼 順子¹⁾、萩原 将太郎²⁾、谷村 聡²⁾、
照屋 勝治¹⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾
1) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター
2) 国立国際医療センター血液内科

SY1-3 結核症合併症例の場合
永井 英明
国立病院機構東京病院

SY1-6 免疫再構築症候群への対応
善本 英一郎
奈良県立医科大学感染症センター／奈良厚生会病院感染制御室

■日時：11月26日（水）9：00～11：30

■会場：第2会場（さくら東）

シンポジウム2	HIV検査相談 —その充実と今後の方向を考える—	座長	今井光信（神奈川県衛生研究所） 市川誠一（名古屋市立大学看護学部）
----------------	-----------------------------	----	--------------------------------------

SY2-1 保健所の立場から
中瀬 克己
岡山市保健所

SY2-5 有料の検査相談を行っている民間クリニック
の立場から
井戸田 一朗¹⁾、加藤 朋子¹⁾、三木 猛¹⁾、
村上 太吾¹⁾、佐野 貴子²⁾、今井 光信²⁾
1) しらかば診療所
2) 神奈川県衛生研究所

SY2-2 依託で検査、相談を行っている専門機関の立場から
小島 弘敬
東京都南新宿検査・相談室

SY2-6 検査相談の研修事業を担当する立場から
矢永 由里子
財団法人エイズ予防財団研修・研究課

SY2-3 委託で検査相談を行っているNGO/NPOの立場
から — 検査相談事業担当者に対する研修体制
松浦 基夫
NPO法人CHARM/市立堺病院腎代謝免疫内科

SY2-7 エイズ予防戦略研究を推進している立場から
市川 誠一
名古屋市立大学看護学部

SY2-4 委託で検査相談を行っているNGO/NPOの
立場から — JHCの取り組み
桜井 健司
特定非営利活動法人HIVと人権・情報センター

SY2-8 日本赤十字社（血液センター）の立場から
日野 学
日本赤十字社血液事業本部

シンポジウム

■日時：11月26日（水）9：00～11：30

■会場：第3会場（さくら西）

シンポジウム3 HAARTとNeuroAIDS

座長 中川正法（京都府立医科大学神経内科）
出雲周二（鹿児島大学医歯学総合研究科附属難治ウイルス病態制御研究センター）

SY3-1 NeuroAIDS：オーバービュー

中川 正法
京都府立医科大学神経内科

SY3-5 エイズ脳症の小動物モデル

三浦 義治¹⁾、小柳 義夫²⁾、水澤 英洋³⁾
1) 埼玉県総合リハビリテーションセンター
2) 京都大学ウイルス研究所感染病態研究領域
3) 東京医科歯科大学脳神経機能病態学

SY3-2 HAARTと神経日和見感染症

橋本 里奈
国立病院機構名古屋医療センター神経内科

SY3-6 NeuroAIDSとサイトカインーヒト剖検例とサル
エイズモデルをもちいた免疫組織学的検討ー

邢 惠琴¹⁾、早川 仁^{1,2)}、Herbert Budka²⁾、
出雲 周二¹⁾
1) 鹿児島大学医歯学総合研究科附属難治ウイルス病態制御
研究センター
2) Institute of Neurology, Vienna University

SY3-3 中枢神経病変のある症例の診断の進め方

上平 朝子
国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科

SY3-4 神経免疫再構築症候群とエイズ脳症

岸田 修二
東京都立駒込病院脳神経内科

■日時：11月26日（水）9：00～11：00

■会場：第4会場（小ホール）

シンポジウム4 ヒトはなぜエイズになるのか

座長 足立昭夫（徳島大学）
俣野哲朗（東京大学医科学研究所感染症国際研究センター）

SY4-1 HIV感染抑制因子TRIM5 α

中山 英美
大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野

SY4-4 ヒト免疫監視システムとHIVの適応馴化

上野 貴将
熊本大学エイズ学研究センターウイルス制御分野

SY4-2 HIV-1の病原性：細胞から個体へ

野間口 雅子
徳島大学ヘルスバイオサイエンス研究部ウイルス病原学分野

SY4-3 サルモデルを用いたHIV-1病原性の研究

五十嵐 樹彦
京都大学ウイルス研究所霊長類モデル研究領域

シンポジウム

■日時：11月27日（木）9：30～11：30

■会場：第1会場（大ホール）

シンポジウム5

Clinical Significance of New Anti-retroviral Agents to New Targets - Introduction of New Drugs in Daily Practice-
新規標的に対する抗ウイルス薬の臨床的意義
—日常臨床への新薬の導入—

座長

松下修三（熊本大学エイズ学研究センター）
岡 慎一（国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター）

SY5-1 Introduction of new antiretrovirals in Japan

我が国における新薬導入の課題

瀧永 博之

国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

SY5-2 Clinical Role of Integrase Inhibitors: What can we expect?

Jürgen K. Rockstroh

Department of Medicine, University of Bonn, Germany

SY5-3 New HIV treatment options: CCR5-entry inhibitors

David A. Cooper

National Centre in HIV Epidemiology and Clinical Research, University of New South Wales, Sydney, Australia

共催：ファイザー株式会社・万有製薬株式会社

■日時：11月27日（木）9：30～11：30

■会場：第2会場（さくら東）

シンポジウム6

East Asia- an Emerging HIV Epicenter
東アジア：世界の新たなエピセンター

座長

木原正博（京都大学医学研究科）
樽井正義（慶應義塾大学文学部）

特別コメンテーター：

J.V.R. Prasada Rao

UNAIDS Asia Pacific Region, Bangkok

SY6-1 Current situation of and responses to HIV/AIDS in China

中国におけるHIV/AIDS流行と対策の現状について

Lu Fan

Division of Policy Research and Information, NCAIDS, China CDC

SY6-3 Current status of HIV/AIDS epidemic in Korea

韓国におけるHIV流行の現状について

Mee-Kyung Kee

Division of AIDS, Korea National Institute of Health
Korea Center for Disease Control and Prevention, Korea

SY6-2 Changing profile of HIV/AIDS epidemic in Hong Kong

香港におけるHIV流行の変化について

Kenny Chan

Integrated Treatment Centre, Hong Kong

SY6-4 Emerging HIV epidemic in Taiwan

Steve Hsu-Sung

台湾におけるHIV流行の勃発とその背景について
Taiwan Center for Disease Control, Taiwan

SY6-5 Social context and current status of HIV epidemic in Japan

日本における HIV流行とその文脈

シンポジウム

■日時：11月27日（木）9：30～11：30

■会場：第4会場（小ホール）

シンポジウム7

実験室からの発信

座長 高折晃史（京都大学医学研究科）
塩田達雄（大阪大学微生物病研究所）

SY7-1 種々の作用点をターゲットとした抗HIV剤の創製
玉村 啓和
東京医科歯科大学生体材料工学研究所

SY7-2 APOBEC3G/Vif によるHIV-1複製制御
高折 晃史
京都大学医学研究科血液・腫瘍内科

SY7-3 無細胞タンパク質合成系を用いたHIV/AIDS
研究の新たな展開
梁 明秀
国立感染症研究所エイズ研究センター

SY7-4 エイズウイルスの異種間感染メカニズム～新興・再興感染症に対する新規治療および予防法の確立に向けて～
武内 寛明、俣野 哲朗
東京大学医科学研究所感染症国際研究センター感染制御部門微生物学分野

■日時：11月27日（木）13：00～15：00

■会場：第1会場（大ホール）

シンポジウム8

エイズ診療、これからの重要課題
—AIDS関連悪性リンパ腫

座長 前田裕弘（近畿大学医学部血液内科）
岡田誠治（熊本大学エイズ学研究センター）

SY8-1 HIV関連リンパ腫の症例提示
上平 朝子¹⁾、四本 美保子²⁾
1) 国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科
2) 東京医科大学病院臨床検査医学科

SY8-2 AIDS関連非ホジキンリンパ腫における
HAART併用EPOCH療法
味澤 篤
東京都立駒込病院感染症科

SY8-3 難治性・再発性AIDS関連リンパ腫に対する
サルベージ療法
萩原 将太郎
国立国際医療センター戸山病院血液内科

SY8-4 悪性リンパ腫の臨床
—エイズリンパ腫と非エイズリンパ腫
永井 宏和
国立病院機構名古屋医療センター血液内科

SY8-5 EBV関連悪性リンパ腫における細胞学的特徴
笹川 淳
近畿大学医学部附属病院血液内科

SY8-6 AIDS関連悪性リンパ腫の治療戦略
岡田 誠治
熊本大学エイズ学研究センター予防開発分野

シンポジウム

■日時：11月27日（木）13：00～15：00

■会場：第2会場（さくら東）

シンポジウム9	介護を要する感染者を地域で支える —医療・保健・福祉をつなぐ視点と“ツボ”をさぐる—	座長	小西加保留（関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科） 石川雅子（千葉県健康福祉部）
----------------	---	----	---

SY9-1 長期入院患者への退院支援を通じて
池田 和子
国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

SY9-4 PWAの在宅療養の現状と課題
市橋 恵子
有限会社オフィスグレイス訪問看護ステーション堂山

SY9-2 医療ソーシャルワーカーの視点から
岡本 学
国立病院機構大阪医療センター医療相談室

SY9-5 保健師の役割と地域の課題
岩本 和子
千葉県松戸健康福祉センター

SY9-3 「一人の人として見るケア」
施設での受け入れ経験から
馬淵 規嘉¹⁾、太田 澄子¹⁾、久野 美智江²⁾、
池田 和子³⁾
1) 社会福祉法人新生会特別養護老人ホームサンビレッジ新生苑
2) 社会福祉法人新生会サンビレッジ宮路
3) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

■日時：11月27日（木）15：00～17：00

■会場：第1会場（大ホール）

シンポジウム10	「Mother and Children」PLWHA女性の 周産期医療と子育てをめぐる諸問題	座長	外川正生（大阪市立総合医療センター小児医療センター小児救急科） 塚原優己（国立成育医療センター産科）
-----------------	---	----	---

SY10-1 わが国のHIV感染妊娠の現況と
母子感染リスク集団の背景
喜多 恒和^{1,7)}、吉野 直人^{2,7)}、
外川 正生^{3,7)}、塚原 優己^{4,7)}、
稲葉 憲之^{5,7)}、和田 裕一^{6,7)}
1) 帝京大学医学部産婦人科
2) 岩手医科大学医学部細菌学
3) 大阪市立総合医療センター小児救急科
4) 国立成育医療センター周産期診療部産科
5) 獨協医科大学産婦人科
6) 国立病院機構仙台医療センター産婦人科
7) 厚生省科研究費エイズ対策研究事業「周産期・小児・生殖医療におけるHIV感染対策に関する集学的研究」班

SY10-4 HIV陽性女性から出生した児の発育発達支
援について—幼児期を中心に
榎本 てる子
関西学院大学神学部

SY10-5 HIV感染妊婦から出生した子どもたちへの
支援について—学齢期を中心に—
辻 麻理子
国立病院機構九州医療センター 感染症対策室
／財団法人エイズ予防財団

SY10-2 HIV陽性妊婦受け入れ体制の現況と問題点
蓮尾 泰之
国立病院機構九州医療センター産婦人科

SY10-3 こどもをもつ女性HIV陽性者の療養支援
大金 美和
国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

シンポジウム

■日時：11月27日（木）15：00～17：00

■会場：第2会場（さくら東）

シンポジウム11	日本のエイズ対策はどこへ向かうのか？	座長	市川誠一（名古屋市立大学看護学部） 池上千寿子（特定非営利活動法人ぶれいす東京）
-----------------	--------------------	----	---

SY11-1 国のエイズ対策：これまでの課題とその取り組み

秋野 公造

厚生労働省医薬食品局血液対策課

SY11-2 日本のエイズ対策を評価する

木村 哲

東京通信病院

SY11-3 地方自治体のエイズ対策/エイズ対策基本指針を策定して

下内 昭

大阪市保健所

追加発言 NGO/NPOからみた日本のエイズ施策

藤原 良次

りょうちゃんず

■日時：11月27日（木）18：30～20：30

■会場：第2会場（さくら東）

シンポジウム12	HIV/AIDS患者のパートナー・家族・遺族への精神的ケアをめぐって	座長	村上典子（神戸赤十字病院心療内科） 兒玉憲一（広島大学教育学研究科）
-----------------	------------------------------------	----	---------------------------------------

SY12-1 HIV/AIDS患者のパートナー・家族・遺族への精神的ケアをめぐって

鈴木 葉子

滋賀県健康福祉部健康推進課

SY12-4 HIV感染被害遺族ケアの

マニュアル作成に携わって

村上 典子

神戸赤十字病院心療内科

SY12-2 HIV陽性者のパートナーへの支援経験から

生島 嗣

特定非営利活動法人ぶれいす東京

SY12-5 ブロック拠点病院における

パートナー・家族・遺族への精神的ケア

安尾 利彦

国立病院機構大阪医療センター精神神経科

SY12-3 薬害HIV感染被害者遺族としての思いと

ピア支援

江口 洋子

大阪HIV薬害訴訟原告団・遺族

シンポジウム

■日時：11月27日（木）18：30～20：30

■会場：第5会場（会議室A B）

シンポジウム13	外国人HIV医療から見えてくる日本の国際化の課題	座長	沢田貴志（神奈川県勤労者医療生活協同組合港町診療所） 宇野賀津子（財団法人レイ・バスターール医学研究センター）
-----------------	--------------------------	----	--

SY13-1 在日ブラジル人の直面する困難と療養支援のあり方
中萩 エルザ
在名古屋ブラジル総領事館人民委員会医療プログラム医師

SY13-4 外国人結核感染症患者の療養を支援する東京都の取組み
大井 洋
東京都福祉保健局

SY13-2 在日ペルー人HIV陽性者の特徴と事情
Herrera Cadillo Lourdes Rosario
大阪大学人間科学研究科

SY13-3 タイ人女性患者とその支援
Piyanun Sophanasiri
タイ女性友の会：FOWIA

■日時：11月28日（金）9：00～11：30

■会場：第2会場（さくら東）

シンポジウム14	MSMに向けたHIV感染対策における行政・専門職者・コミュニティの連携の重要性	座長	鬼塚哲郎（京都産業大学／MASH大阪） 佐藤知久（京都文教大学人間学部）
-----------------	---	----	---

SY14-1 公衆衛生活動の担い手は誰か—不安定就労者の健康問題解決の活動から
高鳥毛 敏雄
大阪大学医学系研究科公衆衛生学教室

SY14-4 ニューヨークのエイズ危機—エイズ演劇に見るゲイ・コミュニティの反応とアクティヴィズムの形成
藤田 淳志
愛知学院大学教養部

SY14-2 大阪市エイズ対策基本指針とMSM対策の現状
吉田 英樹
大阪市保健所公衆衛生学

SY14-5 MSM向けHIV感染対策におけるCBOの役割
山田 創平
財団法人エイズ予防財団

SY14-3 MASH大阪の予防啓発の効果評価における領域間連携の成果と課題
木村 博和
横浜市健康福祉局

シンポジウム

■日時：11月28日（金）9：00～11：30

■会場：第3会場（さくら西）

日本性感染症学会合同シンポジウム 一般公開

シンポジウム15	性感染症の現状、新診断法・治療薬 ならびに予防啓発について	座長	荒川創一（神戸大学医学部附属病院手術部・感染制御部） 守殿貞夫（神戸赤十字病院）
----------	----------------------------------	----	---

SY15-1 若者における無症候性の性感染症の実態
小野寺 昭一
東京慈恵会医科大学

SY15-4 中高生への性感染症予防啓発の方法
白井 千香
神戸市保健所予防衛生課

SY15-2 クラミジア、淋菌の新しい診断法
高橋 聡
札幌医科大学医学部泌尿器科

SY15-5 日本性感染症学会認定医、認定士について
荒川 創一¹⁾、小野寺 昭一²⁾、
本田 まりこ³⁾、三嶋 廣繁⁴⁾、
守殿 貞夫⁵⁾

SY15-3 性器ヘルペスとHPV感染に対する
新治療と子宮頸癌予防ワクチン
笹川 寿之
金沢大学医学系研究科・保健学専攻

- 1) 神戸大学病院感染制御部
- 2) 東京慈恵会医科大学感染制御部
- 3) 東京慈恵会医科大学皮膚科
- 4) 愛知医科大学感染制御部
- 5) 神戸赤十字病院

サテライトシンポジウム

■日時：11月26日（水）14：00～16：00

■会場：第3会場（さくら西）

サテライト シンポジウム1	エイズキャンペーンのストラテジー 「両手一杯のリンゴ すべてを抱えることはできない」	座長	宮田一雄（株式会社産業経済新聞社） 吉田智子（サンスター株式会社広報室）
--------------------------	---	----	---

SS1-1 Get Lippy 企業の強みを生かす店頭キャンペーン

藤田 紀久子

株式会社イオンフォレスト(ザ・ボディショップ・ジャパン)

SS1-2 両手一杯のリンゴ すべてを抱えることはできない～キャンペーンに見る媒体特性

ラジオの視点から

東島 由幸

TOKYO FM

■日時：11月26日（水）14：00～16：00

■会場：第4会場（小ホール）

サテライト シンポジウム2	パートナー検査 —患者を通じた早期発見と予防への働きかけ—	座長	中瀬克己（岡山市保健所） 高田 昇（広島大学病院輸血部）
--------------------------	----------------------------------	----	---------------------------------

SS2-1 本邦におけるHIV症例パートナーへの働きかけの現状と各国における工夫

堀 成美

国立感染症研究所感染症情報センター

SS2-3 地方中核拠点病院での取り組みと課題

和田 秀穂

川崎医科大学血液内科

SS2-2 HIVにおける法律問題—プライバシー権と2次感染の防止—

嵯峨 清喜

新半蔵門総合法律事務所

SS2-4 HIV診療現場でのパートナー検査への取り組み

—看護師の役割—

大野 稔子

北海道大学病院

■日時：11月26日（水）14：00～16：00

■会場：第5会場（会議室A B）

サテライト シンポジウム3	MSMのHIV感染予防行動の阻害要因としての薬物使用 —疫学調査による現状と事例の検討—	座長	市川誠一（名古屋市立大学看護学部） 日高庸晴（関西看護医療大学看護学部）
--------------------------	---	----	---

SS3-1 MSMの薬物使用の現状
—全国インターネット調査の結果から—

日高 庸晴

関西看護医療大学看護学部

SS3-3 薬物依存症者におけるHIV 感染予防について

嶋根 卓也

国立精神・神経センター精神保健研究所薬物依存研究部

SS3-2 MSMの薬物使用の現状
—カウンセリングの事例を通して—

榎本 てる子

関西学院大学神学部

主催：財団法人エイズ予防財団

（厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究推進事業・研究成果発表会）

サテライトシンポジウム

■日時：11月26日（水）18：30～20：30

■会場：第3会場（さくら西）

一般公開

サテライトシンポジウム4 あなたと隣のHIV～予防とケアとをつなぐ手法

SS4-1 ウォームアップクイズ：ほんとうに知っている？
HIVのこと
宇野 賀津子
財団法人ルイ・パストゥール医学研究センター

SS4-3 やってみよう、どこでも使える実践ワーク
宇野 賀津子
財団法人ルイ・パストゥール医学研究センター

SS4-2 ケアとしての性の教育とその手法
池上 千寿子
特定非営利活動法人ぶれいす東京

主催：第22回日本エイズ学会学術集会・総会
財団法人ルイ・パストゥール医学研究センター
後援：財団法人日本性教育協会、厚生労働省、大阪府、
京都府、兵庫県、大阪市、京都市、神戸市、
大阪府医師会、大阪府看護協会、
財団法人エイズ予防財団

■日時：11月26日（水）18：30～20：30

■会場：第6会場（会議室CD）

サテライトシンポジウム5 HIV看護の専門性について考える
ー糖尿病看護・精神看護での実践との比較から

座長 井上洋士（放送大学）
有馬美奈（東京都保健医療公社荏原病院）

SS5-1 在宅ケアにおける精神看護の専門性
片倉 直子
国際医療福祉大学小田原保健医療学部

SS5-3 HIV看護の専門性
下司 有加
国立病院機構大阪医療センター

SS5-2 外来における糖尿病療養指導について
～実践を通して考える～
松井 美貴
済生会松阪総合病院

共催：HIV/AIDS看護学会

■日時：11月27日（木）18：30～20：30

■会場：第4会場（小ホール）

サテライトシンポジウム6 進まないHIV感染者歯科診療体制：その根本に何があるのか？

座長 前田憲昭（医療法人社団皓歯会）
連 利隆（大阪市立総合医療センター）

SS6-1 厚生労働科学研究班の活動から
池田 正一
神奈川歯科大学横浜研修センター

SS6-3 全ての診療所において差別なく安全に
HIV診療が可能となるために
野瀬 博之
医療法人清博会野瀬歯科

SS6-2 進まないHIV感染者歯科診療体制
ーその根本に何があるのかー
小西 加保留
関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科

SS6-4 HIV感染者を受け入れる開業医として（東京）
中田 たか志
中田歯科クリニック

SS6-5 患者さんのお一人

指定発言 研修医における意識改革
柿澤 卓
東京歯科大学水道橋病院

サテライトシンポジウム

■日時：11月27日（木）18：30～20：30

■会場：第6会場（会議室CD）

サテライト シンポジウム7	地方におけるHIV診療体制の充実	座長	高田清式（愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター） 関 義信（新潟県立新発田病院）
--------------------------	------------------	----	--

SS7-1 地方拠点病院におけるHIV診療の現状
坂部 茂俊
山田赤十字病院内科

SS7-4 地方中核拠点病院での薬剤師活動
井門 敬子
愛媛大学医学部附属病院薬剤部

SS7-2 地方のブロック拠点病院における、
県と連携しての匿名無料即日抗体検査
関 義信
新潟県立新発田病院内科

SS7-5 地方のHIV拠点病院における看護師の取り組み
—3名の外国人患者へのケアからの学びと課題—
柳橋 貴子
総合病院土浦協同病院呼吸器内科病棟

SS7-3 地方中核拠点病院におけるチーム医療と
地域連携
武内 世生
高知大学医学部附属病院総合診療部

■日時：11月28日（金）13：00～15：00

■会場：第2会場（さくら東）

サテライト シンポジウム8	関西地域におけるHIV陽性者の支援を考える： HIV検査からHIV診療の間にある支援ニーズとその課題 ～現場からの報告	座長	生島 嗣（特定非営利活動法人ぶれいす東京）
--------------------------	---	----	-----------------------

コメンテーター：

今井 光信（神奈川県衛生研究所）

市川 誠一（名古屋市立大学看護学部）

SS8-1 検査サービスを提供する保健師の立場から—
保健所での検査を受けた人を支援するために
吉田 留美
大阪府岸和田保健所地域保健課
松本 恵子
大阪市北区保健福祉センター

SS8-3 医療ソーシャルワーカーによる
受診前相談の可能性
岡本 学
国立病院機構大阪医療センター医療相談室

SS8-2 ブロック拠点病院の外来看護師として
受診を受け入れる立場から
下司 有加
国立病院機構大阪医療センター

SS8-4 派遣カウンセラーの立場から
土居 加寿子
大阪市保健所

SS8-5 関西地区で陽性結果を受け取った
経験者の声から
岳中 美江
財団法人エイズ予防財団/NPO法人CHARM

財団法人エイズ予防財団 平成20年度厚生労働科学研究費エイズ対策研究推進事業
「地域におけるHIV陽性者等の支援に関する研究」研究成果等普及啓発事業

サテライトシンポジウム

■日時：11月28日（金）15：00～17：00

■会場：第2会場（さくら東）

一般公開

サテライト シンポジウム9	エイズNPOの社会的役割とは何か？ —関西における20年の歩みと今後の展望—	座長 日笠 聡（兵庫医科大学血液内科）
--------------------------	---	---------------------

SS9-1 関西地域におけるエイズNPOのこれまで
—20年を振り返って（予防編）
鬼塚 哲郎
京都産業大学/MASH大阪

SS9-4 エイズNPOの現状
—関西における各団体の活動調査を通じて
佐藤 知久
京都文教大学人間学部

SS9-2 エイズNPOの社会的役割とは何か？
—関西における20年の歩みと今後の展望—
市橋 恵子
有限会社オフィスグレイス訪問看護ステーション堂山

SS9-5 市民社会領域の視点からみたエイズNPO
永井 美佳
社会福祉法人大阪ボランティア協会

SS9-3 エイズNPOをめぐるニーズの変化
日笠 聡
兵庫医科大学血液内科

■日時：11月28日（金）15：00～17：00

■会場：第5会場（会議室A B）

一般公開

サテライト シンポジウム10	現役ユース・ヤングアダルト・“大人”と共に考える、 ユースによる活動の意義と課題～活動の現場からの提言～	座長 松浦基夫（関西HIV臨床カンファレンス/市立堺病院腎代謝免疫内科） 清水誓子（関西セクシュアルヘルス・ユースネットワーク）
---------------------------	---	---

SS10-1 稲垣 朝子
プロジェクト「コネクト」、HIV/AIDS情報ラウンジふぉー
てぃー

SS10-4 井上 恵梨子
関西セクシュアルヘルス・ユースネットワーク

SS10-2 面谷 さとみ
神戸STI予防啓発グループSHIP

SS10-5 上木 卓磨
大阪人間科学大学

SS10-3 細井 舞子
大阪大学医学系研究科保健学専攻

SS10-6 平野 智之
大阪府立松原高等学校

サテライトワークショップ

■日時：11月26日（水）9：00～10：30

■会場：第6会場（会議室CD）

サテライト ワークショップ	HIV包括医療においてもっとうまくカウンセリングを活用するために －医療者がいかにカウンセリングを導入し、カウンセラーと連携するか－	座長	日笠 聡（兵庫医科大学血液内科） 山中京子（大阪府立大学人間社会学部社会福祉学科）
--------------------------	---	-----------	--

SW-1 カウンセリング導入・連携の現状と課題
－カウンセリング体制研究グループから－
安尾 利彦
国立病院機構大阪医療センター精神神経科

SW-4 中核拠点病院における導入・連携の実際
高橋 義博
大館市立総合病院

SW-2 派遣カウンセリングの導入・連携のコツ
関矢 早苗
東京都立駒込病院看護部

SW-5 中規模拠点病院における導入・連携の実際
山本 由香
東邦大学医療センター大森病院

SW-3 院内常駐型カウンセリングの導入・連携のコツ
下司 有加
国立病院機構大阪医療センター

SW-6 HIV診療経験のない一般病院における導入・
連携の実際
新井 尚美
国立病院機構千葉医療センター

サテライト講演

■日時：11月26日（水）16：00～17：00

■会場：第2会場（さくら東）

サテライト講演1	HIV感染症専門・認定薬剤師 －制度の概要と認定要件、専門・認定薬剤師への期待－	座長	木平健治（広島大学病院）
-----------------	---	-----------	--------------

SL1-1 白阪 琢磨
国立病院機構大阪医療センター

SL1-2 栗原 健
国立病院機構東京都病院

■日時：11月26日（水）18：00～19：00

■会場：第4会場（小ホール）

サテライト講演2	HIV感染症診断のガイドライン
-----------------	-----------------

第一部 臨床家のためのHIV-1,2感染症の診断について
座長：白阪 琢磨（国立病院機構大阪医療センター）

診療におけるHIV-1/2感染症の診断ガイドライン 2008(案)
演者：福武 勝幸
東京医科大学臨床検査医学

第二部 集団を対象としたHIV-1,2検査について
座長：今井 光信（神奈川県衛生研究所）

保健所等におけるHIV検査のガイドライン
－妊婦検診を含めて
演者：加藤 真吾
慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室

生活・保健支援グループ イベント

■日時：11月26日（水）14：00～16：00

■会場：第2会場（さくら東）

生活・保健支援
グループイベント

患者と医療者 その関係性（パートナーシップ）について

演者：洪 久夫

ねぎし内科診療所

根岸 昌功

ねぎし内科診療所

北山 翔子

国立病院機構大阪医療センター

白阪 琢磨

国立病院機構大阪医療センター

Patrick Bommarito

厚木市立病院

岩室 紳也

厚木市立病院

ランチョンセミナー

■日時：11月26日（水）12：00～12：50

■会場：第1会場（大ホール）

ランチョンセミナー1 Atazanavir -optimizing the tolerability of PIs
～PIs lipids and cardiovascular risk～ 座長 岩本愛吉（東京大学医科学研究所）

LS1 Anton Pozniak
Chelsea and Westminster Hospital, London

共催：ブリストル・マイヤーズ株式会社

■日時：11月26日（水）12：00～12：50

■会場：第2会場（さくら東）

ランチョンセミナー2 「いまの服薬それでいいの？」
～アドヒアランス再考～ ファシリテーター 今村顕史（東京都立駒込病院感染症科）

LS2 畝井 浩子
広島大学病院薬剤部
吉野 宗宏
国立病院機構大阪医療センター薬剤科
奥村 直哉
国立病院機構名古屋医療センター薬剤科

共催：鳥居薬品株式会社

■日時：11月26日（水）12：00～12：50

■会場：第3会場（さくら西）

ランチョンセミナー3 沖縄県におけるHIV診療の現況
～急増する地方拠点病院の取り組み～ 座長 白阪琢磨
（国立病院機構大阪医療センターHIV/AIDS先端医療開発センター）

LS3 健山 正男
琉球大学大学院医学研究科感染症態制御学講座分子病態感染症学分野

共催：万有製薬株式会社

ランチョンセミナー

■日時：11月27日（木）12：00～12：50

■会場：第1会場（大ホール）

ランチョンセミナー4 抗HIV薬治療の変遷とPIの位置づけ 座長 松下修三（熊本大学エイズ学研究センター病態制御分野）

LS4 瀧永 博之

国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

共催：アボット ジャパン株式会社

■日時：11月27日（木）12：00～12：50

■会場：第2会場（さくら東）

ランチョンセミナー5 血液製剤の現状と今後の課題
(感染症を中心に) 座長 杉浦 亙
(国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫部)

LS5 岡田 義昭

国立感染症研究所血液・安全性研究部

共催：中外製薬株式会社

■日時：11月27日（木）12：00～12：50

■会場：第3会場（さくら西）

ランチョンセミナー6 第二世代の新しい治療薬
ダルナビル(プリジスタ®)の臨床的位置付け 座長 満屋裕明
(熊本大学大学院医学薬学研究部血液内科・膠原病内科・感染免疫診療)

LS6-1 ダルナビルの開発とそのウイルス学的特性

満屋 裕明

熊本大学大学院医学薬学研究部血液内科・膠原病内科・感染免疫診療

LS6-2 新時代のHAARTでダルナビルをどう使うか？

岡 慎一

国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

共催：ヤンセン ファーマ株式会社

ランチョンセミナー

■日時：11月27日（木）12：00～12：50

■会場：第4会場（小ホール）

ランチョンセミナー7 エイズ遺伝子治療法の開発

座長 馬場昌範（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科）

LS7-1 mRNA分解酵素 MazF を用いた遺伝子治療法開発

蝶野 英人

タカラバイオ株式会社細胞・遺伝子治療センター

LS7-2 HIV感染症治療への応用

岡本 実佳

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

共催：タカラバイオ株式会社

■日時：11月28日（金）12：00～12：50

■会場：第2会場（さくら東）

ランチョンセミナー8 抗CMV療法の過去・現在・未来

座長 岡 慎一
（国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター）

LS8 塚田 訓久

国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

共催：田辺三菱製薬株式会社

■日時：11月28日（金）12：00～12：50

■会場：第3会場（さくら西）

ランチョンセミナー9 新しい核酸増幅検査 TaqMan HIV-1
～臨床上の課題とその解決に向けて～

座長 福武勝幸（東京医科大学臨床検査医学講座）

LS9 Sam Rose

Scientific Affairs, Roche Molecular Diagnostics

共催：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

イブニングセミナー

■日時：11月26日（水）18：30～20：30

■会場：第1会場（大ホール）

イブニングセミナー1	HIV感染症「治療の手引き 第12版」	座長	木村 哲（東京通信病院） 満屋裕明（熊本大学大学院医学薬学研究所血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部）
------------	---------------------	----	--

ES1-1 HIV感染症『治療の手引き』第12版
木村 哲
東京通信病院

ES1-3 治療開始時期の早期化と、治療長期化に伴う課題」
味澤 篤
東京都立駒込病院感染症科

ES1-2 最新のHIV感染症治療：現状および今後の展望
塚田 訓久
国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

ES1-4 エキスパートに聞く～処方に対する考え方
今村 顕史
東京都立駒込病院感染症科
潟永 博之
国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター
花房 秀次
荻窪病院
日笠 聡
兵庫医科大学血液内科

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

■日時：11月26日（水）18：30～20：30

■会場：第2会場（さくら東）

イブニングセミナー2	Beyond Japan : Women, Children and Our Network	座長	Aikichi Iwamoto (The University of Tokyo) Jeffery Smith (TREAT Asia)
------------	--	----	---

ES2-1 (1) HIV status in Korea
(2) Introduction of ASAP (AIDS Society of Asia and the Pacific)
Myung-Hwan Cho
Konkuk University, Korea

ES2-2 (1) HIV status in India
(2) Prevention of Mother To Child Transmission
NM Samuel
The Tamilnadu Dr. M.G.R. Medical University, India

ES2-3 (1) Activism of the women, by the women, for the women
(2) Invitation to ICAAP 2009 in Bali
Frika Chia Iskandar
Women of working group of APN+ (WAPN+) Coordinator, Thailand

共催：鳥居薬品株式会社

イブニングセミナー

■日時：11月27日（木）19：00～21：00

■会場：第1会場（大ホール）

イブニングセミナー3 Improving the Management of HIV Diseases
症例から学ぶHIV感染症診療のコツ

第1部 特別講演
今日のHIV感染症治療～脂質代謝障害等副作用を中心として（仮題）

座長：山元 泰之（東京医科大学病院臨床検査医学講座）

演者：David A. Cooper

National Centre in HIV Epidemiology and Clinical Research, University of New South Wales, Sydney, Australia

第2部 Interactive Session
症例から学ぶHIV感染症診療のコツ～今後も問題となる合併症・副作用：糖・脂・肝・腎

座長：青木 眞（感染症コンサルタント）

コメンテーター：David A. Cooper

National Centre in HIV Epidemiology and Clinical Research, University of New South Wales, Sydney, Australia

山元 泰之

東京医科大学病院臨床検査医学講座

味澤 篤

東京都立駒込病院感染症科

松永 直久

東京医科大学病院感染制御部

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

■日時：11月27日（木）17：00～19：00

■会場：第2会場（さくら東）

イブニングセミナー4 現在のHIV診療が抱える
他科連携の問題点を総括する

オーガナイザー 今村顕史（東京都立駒込病院感染症科）

ES4 小田原 隆
東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
漏永 博之
国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター
小島 賢一
狹窪病院血液科
村松 崇
東京都立駒込病院感染症科
榎谷 法生
国立国際医療センター産婦人科
中田 たか志
中田歯科クリニック

共催：ヤンセン ファーマ株式会社